

## 令和2年度四街道市下水道事業決算について

### ・経営状況

令和2年度の収益的収支については、収益総額が令和元年度に比較して1億2,699万7,555円(6.8%)の増で19億8,738万5,351円となりました。これに対する費用は、費用総額で令和元年度に比較して1億2,696万6,010円(6.8%)の増で19億8,470万6,868円となりました。

収支内訳は、営業収益11億470万9,276円に対し営業費用は18億9,037万6,904円で、差し引き7億8,566万7,628円の営業損失となり、営業外収支の7億8,834万6,111円の利益を加えた令和2年度の純利益は267万8,483円となりました。

### ・建設関係

令和2年度の建設改良事業については、汚水事業では旭ヶ丘地先において、約420メートルの下水道管改築工事を行い、管渠の長寿命化を図りました。雨水事業では浸水被害の軽減を図るため、みのり町地先において、小名木雨水4号幹線枝線の整備が完了しました。